

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス L&Mの中津校		公表日	2020年2月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用児童が発達支援等のスペースとの区別が適切であるか。	○		適切な人数によるよう利用人数を日々確認し、定額している。	
	2	利用児童やこどもの状態等に対して、職員が配慮が適切であるか。		○	特になし。	可能な限り個別し、人数を置くようにしているが、ドライパーや指導員が足りない日がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく整備された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、障害上の配慮が適切に行われているか。	○		児童が使うスペースは、色で分けられるように色分けをせず、白線、白線で区別している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		掃除チェック表を作り、毎日掃除をしている。また清潔な空間を確保し、清潔に保っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を指定することが認められる環境になっているか。		○	特になし。	部屋は事務室と運動場等の二つしかない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	○		業務改善を図るために職員全員で話し合っている。	
	7	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共同で計画を作成しているか。	○		保護者からの意見がない場合は、児童発達支援管理責任者による計画を作成し、子ども達の写真をもとに見たりしている。	
	8	職員の意見を尊重する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			職員間でセッション等のMTGの機会を設けている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	特になし。	第三者における外部評価制度の機会はない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修も実施する機会が確保されているか。	○		研修対象者や研修内容、研修時間など定期的に、業務上の研修を充てている。	
適切な支援の実施	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援計画に合わせたプログラムを作成している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を適切に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		毎月一定の保護者面談を行い、ニーズを確認し、子どもも個別でニーズを確認して、個別対応計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共同で計画を作成しているか。	○		保護者面談の前と面談後について、モニタリングの時間を設け、半年間の振り返りや今後の課題、目標を確認している。	
	14	放課後等デイサービス計画が個別に作成され、計画に沿った支援が行われているか。	○		お子様一人一人のニーズを確認し、計画に沿ったプログラムを作成している。	
	15	こどもの適切な行動の状態を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを実施する等により確認しているか。	○		保護者より情報提供を促したい場合は、面談時に、学校、家庭の様子を確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「環境支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のいずれか及び複数内容を盛り込みながら、こどもの状態に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		「本人支援」「環境支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のいずれか及び複数内容を盛り込みながら、こどもの状態に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		セッション前にMTG等を行い、セッションについて話し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		メインのセッションを回す指導員が固定しないように毎日変えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		特になし。	個別活動のみも行っている。
	20	各職員には職務内容や担当を定め、その実行される支援の内容や担当部分について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		特になし。	業務量の上によって取れない場合もある。
関係機関や保護者との連携	21	各職員は、保護者や必要に応じて関係機関と連携し、その実行される支援の振り返りを行い、集めた情報を活用しているか。	○		特になし。	業務量の上によって取れない場合もある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、記録の整理・改善につなげているか。	○		利用児童のその日の様子などを記録し、毎日記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な改善を行っているか。	○		モニタリングの時間を設け、児童の目標の進捗を確認している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		特になし。	4つの基本活動について職員間で共有を行う。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促すための支援を行っているか。	○		選択したい物や多くなりたいた物を児童に定期的に問いかけて児童の意見を尊重している。	
	26	児童発達支援事業所のサービス計画会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	○		児童発達支援責任者が会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（生活医や臨床心理士）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		特になし。	取れる体制ではあるが、連携等を実践したことはない。
	28	学校との連携共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの学習状況の確認、課題課題（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者と連絡し、児童の行事や送迎時の対応について情報を共有している。	
	29	学校前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で連携共有や相互理解を促しているか。	○		特になし。	情報共有は行っていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合は、それまでの支援内容等の情報を提供しているか。	○		特になし。	障害福祉サービス事業所への移行は行っていない。
保護者への説明	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受けられる機会を設けているか。	○		特になし。	研修を受けられる機会は設けていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		特になし。	交流する機会は設けていない。
	33	（自立支援）保護者等へ積極的に参加しているか。	○		特になし。	自立支援協議会へは参加していない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と話し合い、こどもの状態の状況や課題について共通理解を深めているか。	○		保護者に対し、毎日フィードバックを行っている。	
	35	子供の抱え込みに向き合いながら、親族に対して児童発達支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や放課後の学習に関する機会や情報提供を行っているか。	○		特になし。	親族が積極的に参加できる機会は設けていない。
	36	課題解決、支援プログラム、利用者の役割について丁寧な説明を行っているか。	○		個別に支援プログラムや利用者の役割の説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもと保護者の意見を尊重し、こどもの権利の擁護や考慮の観点も踏まえて、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談時やフィードバック時に意向を確認する機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を明示しながら業務内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の見直しを行っているか。	○		個別に説明を行っている。	
	39	子供からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、適切な必要助言と支援を行っているか。	○		半年ごとと面談について保護者と面談を行っている。	
	40	父母会の活動や支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の取組を行っているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の取組を行っているか。	○		特になし。	交流する機会は行っていない。
子育て支援	41	こどもや保護者からの連絡について、対応の速やかさを確保するとともに、こどもや保護者に周知し、質問があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		連絡が来た際は職員間で共有を行い、再対応のためは取り急いで対応している。	
	42	定期的な連絡等を行うことにより、HCPや関係機関と連携することにより、活動量や行事予定、連絡事項等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的にブログを更新している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		児童の個人情報については厳格に管理している。	
	44	児童のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		児童が利用した後は職員間で共有を行い、再対応のためは取り急いで対応している。	
	45	事業所の行事と地域住民を結びつける等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	○		特になし。	本事業所が「道徳」地域行事と関係する機会はない。
	46	多言語マニュアル、緊急対応マニュアル、認定マニュアル、標準対応マニュアル等を策定し、職員や関係機関に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは策定されている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に実施、検証その他の取組を行っているか。	○		BCPマニュアルを策定し、定期的に実施訓練を行っている。	
	48	事前に、児童や学級保護、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	○		子供の病状についての情報は研修等での取得で把握している。	
	49	救急用アイテムのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応しているか。	○		救急を要することはない。	
	50	安全計画を作成し、毎月点検を行っているか。また、定期的な点検訓練を行っているか。	○		安全計画を作成し、毎月点検を行っている。また、定期的な点検訓練を行っている。	
51	こどもの安全確保に際して、事故等との連携が図られるよう、安全計画に基づき取組内容について、関係等へ周知しているか。	○		防災訓練を行った際は、関係機関に通知し、火災訓練やフィードバックの際に連携を確認している。		
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	○		再発防止に向けた共有する機会を設けて、ヒヤリハットは記録するよう確保している。		
53	適切なためとするため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		2か月一度に職員全員が研修を受けている。		
54	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うのかについて、事前に決定し、こどもや保護者事前にも十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体的拘束については契約内で事前に説明を行っている。また3か月に一度見直ししている。		